○○年○○月○○日

国立研究開発法人科学技術振興機構

プロジェクト名：○○

研究総括：○○

研究担当者：○○

**ERATO人件費特例適用状況について**

本プロジェクトにおいて、下記の研究員等が他の活動等を行うことを希望したため、所定の条件を満たすことを確認し、人件費特例を適用することとしました。当該活動の業務内容およびエフォート率を以下の通り申告しますのでご査収よろしくお願いいたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究グループ名 | ○○○○グループ |
| 機関名 | ○○○○大学 |
| 人件費特例の適用期間 | 20XX年4月1日　～20XX年3月31日 |
| 特例を受ける者の氏名 （所属・職位） | ○○ ○○ 研究員（○○○研究科・特任助教） |
| ERATO雇用の形態  | 専従 か 非専従 かを記載 |

|  |  |
| --- | --- |
| 人件費特例適用後の業務内容 | エフォート率 |
| １．本プロジェクト研究内で行う研究活動 | 85 % |
| ２．他の競争的資金等を用いて行う研究活動の概要（１）資金名　科学研究費補助金　若手研究A（２）金額（年度毎に記載）　20XX年度：1,000千円（20XX年度：1,000千円）　※上記資金からの人件費（給与・報酬等）の受給なし。（３）研究活動の概要　○○○○○○○○○○○○○○○○（４）本プロジェクト研究との関連性　○○○○○○○○○○○○○○○○ | 10 % |
| ３．教育活動の概要（１）教育活動の概要　○○大学○○研究科における課程科目「○○演習」における実験の指導。（２）本プロジェクト研究との関連性　上記の指導はERATO研究における基礎的実験スキルの涵養に繋がる。修了者が即戦力の研究補助員としてプロジェクトに参画することが期待できる。 | 5 % |

※毎年度期首における研究・予算計画書の作成時に研究参加者報告書と併せてご提出ください。

※年度期中に上記内容に変更がある場合は、都度更新して再提出してください。

※当該研究員等を雇用している機関の人事担当部署にも本書の内容を共有してください。

**◎「ERATO人件費特例」とは**

若手研究者のキャリア形成支援の観点から、下記の条件を全て満たしていれば、人件費を按分することなく研究機関等の研究・教育業務への参加や科研費等の他競争的資金による研究を実施することが認められます。

◆対象者

・所属機関が定める「プロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等の実施」の要件を満たさない者（所属機関等の事情により手続きができなかった者も含む）

・ERATOプロジェクトの実施のために雇用される（＝直接経費あるいは協働実施経費で人件費の全部または一部を支出している）研究員・技術員・研究推進主任（研究推進員・学生は対象外）

◆適用条件

①研究機関等の研究・教育業務や科研費等外部ファンドの実施が、当該ERATO協働研究等の推進に支障がなく、当該 ERATO 協働研究等に資すると認められる者（ERATOプロジェクトに従事するエフォートの20％を上限とする）

②研究総括・副研究総括・研究担当者、当該研究員等が同意していること

**◎参考**

◆ERATO専従（ERATO資金のみで雇用されている研究員等）の場合

**ERATOのエフォート：100％**

**ERATOのエフォート：80％ は確保**

**特例他業務：最大20％**

**特例適用後**

**申請前**

◆ ERATO非専従（一部他資金と合算で雇用されている研究員等）の場合

※下図はERATOのエフォートが60%の場合。

ERATOのエフォートのうちの20％を上限に他業務への従事が認められる（60×0.2＝12）。

**ERATOのエフォート： 60％**

**ERATOのエフォート：48％ は確保**

**特例他業務：最大12％**

**特例適用後**

**申請前**

**他業務：40％**

**他業務：40％**

ご不明な点は、JSTプロジェクト担当にお問い合わせください。

以 上